

会議報告

会議名称	「元気な入間」まちづくり推進・協働ガイドライン策定会議 第17回会議
開催日時	平成20年3月17日(月) 午後3時00分～5時10分
開催場所	市民活動センター 3階 活動室1
出席委員	渡部直也・鳥山政之・岩崎廣司・岡野 亘・太田恵子・北田尚美・ 斎藤次雄・関谷佳代子・清水英弥・瀧澤良生・中澤 岳・ 原口喜代美・堀夫紗子・宮岡利幸・文字山啓子 以上15名
欠席委員	亀谷容子・清水洋行・ アドバイザー犬塚裕雅
傍聴人	無し
事務局	大野課長・齋藤主幹(司会)・西澤主査
会議の概要 及 び 決定事項	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) ガイドラインの最終編集案について</p> <p>(2) その他</p> <p>[主な内容]</p> <p>○ 渡部会長</p> <p>今日は、市長への提言に向けた最終策定会議。①最終版の確認 ②これからの展開 ③今までの策定会議を振り返りとこれからの取り組みについて皆さんの意見をいただきたい。</p> <p>議事</p> <p>○ 事務局から前回の最終案に対する意見と修正のポイントについて説明</p> <p>○ 鳥山副会長</p> <p>最終編集案を各章ごとに見て、それぞれ意見を。また全体をとおして総合的な視点から意見をいただきたい。など本日の手順の説明。</p> <p>○ 内容について意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「PTA・子ども会」が具体的にどういった「協働」を行えるのか。 ☆学童に代わる、安心できる居場所作り。余裕教室や地域の人材としてPTAもありえるのでは。 ・「市民活動団体等」の「等」はあいまいな表現ではないか。 <p>→最初に「市民活動団体等」とする協議をしてきた。アドバイザーから</p>

	<p>も定義づけしておけばよいのではないかとアドバイスももらっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめに」の項で出てくる団体名と表2の団体名が違うのは見づらい。 <p>→表2の団体名を使って整合性を持たせるよう事務局で調整。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表4「市民が得られる効果」で個人のニーズが全体のニーズになるのか。ものによって「自らのニーズ」＝「自分だけのニーズ」になる可能性もある。 <p>→「自らのニーズを地域の共通課題としてとりあげ市民活動等に参画していく機会が生まれます」ではどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働基本方針「協働でともに進めるまちづくり」で良いか。→了承 ・「中間支援」で、市民に意味がわかるか。→用語解説が必要。 ・p13「まちづくりの人材育成」の「学校教育・生涯学習」は、「生涯学習」は理念で実態がない。学校教育と社会教育、合わせて生涯学習。学校教育と並べるのであれば「学校教育・社会教育」としたほうが良い。 ・p27 事後評価シートを協働の原則と整合性を持たせて作成したほうが良い。 →整合性をもったシートにする <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今後のスケジュール（協働推進の取り組み） ・市長に提言→庁内調整→策定会議委員に報告→パブリックコメント→結果の公表及び策定会議委員に報告 ・市長への提言をもって策定会議は解散となる。 ○策定会議を振り返って、各委員から一言 ○課長あいさつ <p>1年4ヶ月の間、真剣に検討して頂いたことに感謝する。協働が行革のためという話もあったが、良いまちを作るためのものだと思っている。改めて、委員の皆様に感謝。ありがとうございました。</p> <p>. 閉会</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>会 長 _____</p>	